

きずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

協会創立15周年記念 第13回国際文化スタディ講演会

幸せなら手をたたこう

世界で歌い継がれる名曲誕生秘話

講師 木村利人氏
(早稲田大学名誉教授)



木村利人氏 早稲田大学名誉教授
会場 蓮田市総合文化会館多目的ルーム

2月18日「バイオシックス(生命倫理学)の世界の権威者(早稲田大学名誉教授)による名曲を生んだフリーピンでの学生時代の思い出、平和といのちの大切さなどをお話ししていただいた。貴重なスライドを使いなが

「早稲田大学時代の様々なボランティア活動の中で一九五九年フリーピン・パンガシナン県ダグパン市の農漁村復興ボランティア活動で、動戦争の悲惨さを生まれて初めて体験した。その時に現地の子供たちが民謡のメ

ロディーに合わせ踊る姿を見ながら、戦争の憎しみを超えて自分に接してくれる現地の人の態度に感銘を受け、旧約聖書の詩編47・1「すべての民よ、手を打ち鳴らせ」を思い起こし、愛と赦しとを態度で示してくれたフリーピンの友人への感謝をこめ、平和を願いながら作詞したのが「幸せなら態度で示そうよ!」であった。

一九七〇―七二年の南ベトナムサイゴン大学滞在中、ベトナム戦争の只中で、「命」、「人権」、「平和」、「健康」等の価値観の変革を意図する「超・学際的学問」を構想し、その後のバイオエシックスへの発想となった。その後、バイオエシックスはWHO(世界保健機関)で取り上げられ、ユネスコでは二〇〇五年にバイオエシックスと人権に関する世界宣言となった。ユネスコ憲章の前文には「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の

中に平和の砦を築かなければならない」とある。平和のうちに生きる権利、「し・あ・わ・せ」を求める活動、日本国憲法第13条「幸福請求権」の尊さを強く訴えた。そして「し・あ・わ・せ」なら態度に示す人生を生きましよう!と結んだ。ちなみに「し・あ・わ・せ」とは、「知ること(歴史の無知の反省)」、「愛すること(和解と友情)」、「和/輪をつくる(平和のサークル)」、「世界に目を向ける(GLOBALな視野をもつ)」である、と紹介された。まさしく当協会創立15周年を記念するのにふさわしい講演会であった。

「超・学際的学問」を構想し、その後のバイオエシックスへの発想となった。その後、バイオエシックスはWHO(世界保健機関)で取り上げられ、ユネスコでは二〇〇五年にバイオエシックスと人権に関する世界宣言となった。ユネスコ憲章の前文には「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の



田村会長、木村氏と恵子夫人、(右)木村氏をご紹介頂いた石崎賛助会員

2023 活動方針 持続可能な活動を目指して 新規活動の取組も

会長 田村勝彦



日頃は、当協会活動にご協力を戴き、誠に有難うございます。創立以来、色々な事に挑戦し、遭遇し、縷々議論して、時には各位の血のにじむような努力で何とか活動を凌いで来ました。私たちの活動の系譜に、そのご苦労の足跡は残されております。持続可能な協会をめざすには取組も考え、活動の内容など検討する事は必須であるべき姿と思います。また、ユネスコに懸ける情熱のモチベーションはいつまでも同じではありません。気力・体力も無限ではありません。理事各位の意見も祈る次第です。

あり、この機に、運営・活動を少し見直すべき時であると思ひました。15年間の活動の体験・反省を踏まえて「適合する活動」を模索しながらから、「絞込」をして、中身を充実させ、持続する協会づくり、会員・支援者に応えられる協会をさらに目指そうと思ひます。その為に、総会資料に掲載した活動を実施しつつ、皆様の提言と協力の下で精査しより適合する具体的な活動をさらに見出そうと思ひます。その一環で今期取り組む「平和の鐘をならそう」・「親子で考える平和ワークショップ」は新たな挑戦であります。ご関係各位と連携ご協力を切にお願い申しあげ、今後の歴史に名を刻むことを祈る次第です。

新会員紹介

- ① 名前
- ② 出身地及び居住地
- ③ 入会動機・活動への抱負



①安田修一
(やすだしゅういち)

②生まれも育ちも現在暮らしているさいたま市北区(旧大宮市)です。

③この度、田村会長からお声がけをいただき、入会させていただきまし

た。蓮田・白岡地方ユネスコ協会との関わりは、私が蓮田中学校の教頭として着任した平成29年度からになります。当時、キャリア教育の一環として、著名な方々を講師にご推薦いただきました。そして、講師の方から未来を切り拓いていく高い志について子供たちにお話しをいただきました。また、ここ数年は青年海

外協力隊に参加された方を講師に推薦していただき、グローバルな視点で子供たちが将来を考える上で、大変貴重な機会になりました。現在、小中学校ではSDGsに関連した教育や実践が重要視されていますので、これまで以上に多くのことを考えてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。



①澤村 重子
(さわむらあつこ)

②東京都江戸川区で幼少期を過ごし、結婚と同時に愛知県小牧市に住む。その後、埼玉県さいたま市浦和区で2人の娘を子育てしながら、市内の小

学校でスクールアシスタントとして13年勤務。主人の定年を機に、昨年4月より神奈川県鎌倉市に移住。
③ユネスコ協会の役員理

事の江原さんと学童施設の仕事を運命的な出会いがあり、昨年11月と今年2月の活動に誘っていただき、いろいろな縁を感じ入会を決めました。決めたの一つに、『私たちの活動 15年の軌跡』に凝縮された活動内容に共感し、会長を真ん中に役員の方々や応援者の活動に対する愛情を感じたこととです。現在鎌倉市内の小学校で特性のある子どもへの学習支援をし、学童施設でもさまざまな子どもへの支援をしています。ユネスコ協会ではなかなか会えない文化人や先生の先輩方のお話を聞き、「平和と子ども達のことを考える」きっかけになるのではと楽しみにしています。4年前に他界した母が、田村会長と同じ青学卒で赤ちゃんから大人までを対象に、英語教育を50年以上携わり、小さな国際交流を身近に体験してきました。相手の国を知ること、文化を知ることが平和への第一歩かなと母の願いを背に活動に貢献できれば

なと思えます。

【新企画】

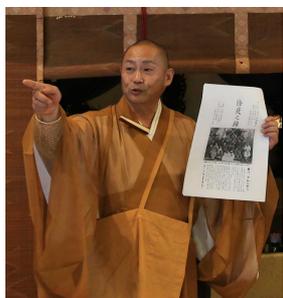
第1回 平和の鐘を鳴らそう in 蓮田・慶福寺開催報告



平和の鐘を鳴らしました。

「語り継ぐ戦争」のお話は深く心に刺さり、平和の尊さを改めて感じました。合唱は夏の暑さも和らぐ素敵なハーモニーで、おじさんパワーを感じ、元気を戴きました。合唱

よう祈り、鐘をつきました。参加者51名、ご来賓として蓮田市長山口京子様・学校教育部長安田修一様・市議会議員山田慎太郎様を迎え、ご挨拶戴きました。



関口ご住職の講話

7月19日(水)民間ユネスコ誕生の日。当協会も15周年を迎え新たな取り組みとして、先人たちの「平和の志」をつなぎ、地域の皆さまと「平和への祈りと願い、そして鎮魂を込める祈念の日」として、慶福寺にて、(朗読)花びらの会、(合唱)C.E.M.C.の地元ボランティア団体の皆さまのご協力のもと、平和の鐘が心に沁み、響き渡った一日となりました。朗読の



感動の朗読「語りつぐ戦争」花びらの会の皆様

「翼をください♪」は久し振りにお腹から声を出し参加された皆さまと一緒に歌いました。参加された方々からも「とてもよかったです!」と高評価でした。このイベントでまた、人との繋がりを大切に、微力ながら地域活性のお手伝いができればと思います。世界平和と来年もこの企画が続いていきます



「翼をください♪」

C.E.M.C. 男性合唱団の皆様

お知らせ

「夏のワークショップ」を開催致します。
8月20日(日) 13~15時 無料 定員50名
蓮田図書館視聴覚ホール
1部: 絵本の朗読
2部: アロマ虫除けスプレー作り
詳細、参加申込みはホームページより
お願いします。